

授業科目 運動学習

【担当教員名】 久保雅義		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 この授業の目標は、セラピストとしての治療計画の立案、実施および評価のための基礎となる運動学習および運動制御についての理解である。心理学、生理学および工学などのさまざまな分野から人間運動の理解へのアプローチを概説する。 さらに物理的な意味での「運動」の枠を超えて、さまざまな環境での「行動や行為」の表出に焦点をあてる。最後に「脳の可塑性とリハビリテーション」に関する最近のいくつかの研究を紹介する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 運動学習の理論的背景を説明できる。 2. 運動学習の効果に影響する条件を説明できる。 3. 運動学習／制御における中枢神経系の役割について説明できる。 4. 協調運動について説明できる。 5. 運動の「バラツキ」について説明できる。 6. 知覚と行動の結びつきについて説明できる。 7. 脳の可塑性とリハビリテーションのアプローチについて説明できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1 運動学習の理論的背景 2 運動学習の条件 3 運動学習と小脳 4 協調運動の成り立ち 5 運動の「バラツキ」 6 パーセプション・アクションカップリング 7 脳の可塑性とリハビリテーション				1 講義・久保 2 講義・久保 3 講義・久保 4 講義・久保 5 講義・久保 6 講義・久保 7 講義・久保
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		運動学習とパフォーマンス-理論から実践へ、大修館書店、4800円 モーターコントロール-運動制御の理論と臨床応用、医歯薬出版、8600円			
その他の資料					
【評価方法】 期末試験（筆記）			【履修上の留意点】		